

人権教育を通じて育てたい資質・能力およびめざす児童像(久木野小)

	「第三次とりまとめ」で示す資質・能力	本校で育てたい資質・能力:網掛けは重点	めざす児童像:低	めざす児童像:中	めざす児童像:高
知識的側面	① 自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性の概念への理解	ア 自分たちのよりよい生活実現のために不可欠な考え方があることを理解する。	児童像 みんなが気持ちよく生活するために大切なことが分かる子ども	人権を大切に作る仲間づくりのために必要なことを自分の生活と重ねて考える子ども	自分や家族、友だち、地域、社会に関わる人権課題について自分の生活と結びつけて考える子ども
	② 自尊感情・自己開示・偏見等、人権課題の解決に必要な概念に関する知識	イ 人権を尊重し合うなかまづくりのために必要な人との関わり方について知る。			
	③ 憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令などに関する知識	ウ 人権を守るために様々なルールや約束事があることを知り、その内容を正しく理解する。			
	④ 人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識	エ 人権が尊重される社会の実現のために、これまでに様々な取組がなされてきたことやそれに携わってきた人々の存在を知り、その素晴らしさに学ぶ。			
	⑤ 人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識	オ 人権が尊重された社会、学校の実現のために進んで行動しようとする。			
価値的・態度的側面	① 人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚	ア すべての人は、人間として大切な存在であることに気づく。	児童像 自他ともに大切な存在であることに気づきなかよく助け合おうとする子ども	自他のよさに気づき違いを認め合いながら助け合いつながり合おうとする子ども	すべての人の人権が尊重される大切さに気づき生活の中の人権課題を自分たちの力で解決しようとする子ども
	② 自己についての肯定的態度	イ 自分のことを認め、自分が周囲から大切にされていることを実感する。			
	③ 自他の価値を尊重しようとする意欲や態度	ウ それぞれのすばらしさを認め合い、大切にしようとする。			
	④ 多様性に対する開かれた心と肯定的態度	エ それぞれの違いを認め合い、大切にしようとする。			
	⑤ 正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度	オ 人権が尊重された社会、学校の実現のために進んで行動しようとする。			
	⑥ 人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度	カ みんなが気持ちよく安心して生活できるために、自分の行動を振り返ったり、傷ついたり悩んだりしている友だちに寄り添っていっしょに解決したりしようとする。			
	⑦ 人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意欲や態度				
	⑧ 社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度				
技能的側面	① 人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め受容できるための諸技能	ア 違いを認め合い、進んで相手のよさを見つけたり相手の立場になって考えたりすることができる。	児童像 相手の話をしっかりと聞き自分の考えを持って伝えることができる子ども	相手の立場に立って考え自分の考えを分かりやすく伝えることができる子ども	互いの相違を認め様々な人権課題に対し自分の考えをもって解決に向けて行動できる子ども
	② 他者の痛みや感情を共感的に受容するための創造力や感受性				
	③ 能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能	イ 相手の話をしっかりと聞いたり、自分の考えを分かりやすく伝えたりすることができる。			
	④ 他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能	ウ 相手の人権を尊重し、仲よく助け合って生活することができる。			
	⑤ 人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能	エ 差別やいじめにつながる言動を見逃さず、問題提起することができる。			
	⑥ 対立的問題を非暴力で、双方にプラスとなるように解決する技能	オ 諸問題を、アサーティブに解決することができる。			
	⑦ 複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能	カ 確かで正しい情報や理論に基づいて自分の考えを決定することができる。			